

—中部山岳地域急行の雄—



とことん楽しむ

HOゲージ **165系**



165系は東海道本線を中心に活躍していた153系の後継車両で、直流電化区間の標準急行形電車として昭和38年(1963)から7年間で総数701両製造されました。

本来の運用地域が上越線、中央本線を想定していたため、153系に対して主電動機出力の増強、勾配抑速ブレーキとノッチ戻し制御や耐寒耐雪設備を装備しています。

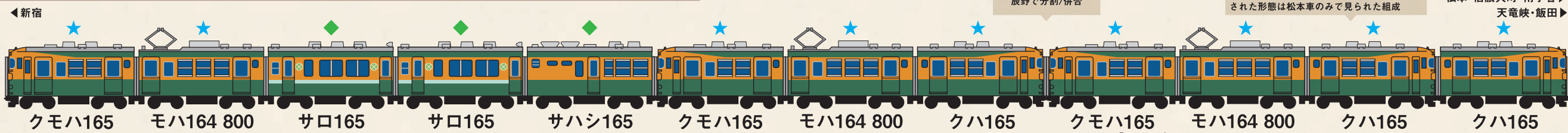
本線急行形電車として、グリーン車、ビューフェ車が製造されたほか、支線へ付属編成が分割する運用や季節変動が大きい輸送量に柔軟に対応するため、最小編成単位を3両としていることも特徴です。

また直流電化区間の標準急行形電車として増備された車両は153系と併結もしくは同様に運用され、房総、東海、関西、山陽地区でも急行列車に幅広く運用されました。



蒸気機関車と客車、貨車の建築限界で掘削された断面の小さいトンネルを電化し架線を張ると、通常のパンタグラフの位置では非常時に通電を遮断すべくパンタグラフを折り畳んだ状態でも、適正な絶縁距離が保てません。そこでパンタグラフ折り畳み時の高さを4000mm以内になるように屋根そのものを低くしてパンタグラフ位置を下げたのが低屋根車両です。異なる車両形式でも800番台が附番されているものはすべて低屋根車両になります。(モハ164-800、モハ114-800、クモハ100-800など)

急行「アルプス」
+
急行「こまがね」



急行「アルプス」 運転区間:新宿ー松本・信濃森上・南小谷

中央東線、篠ノ井線の松本電化が完成した昭和40年(1965)7月から運転開始(それまではキハ58系で運転)。当初はサハシ165の連結はなく、同年12月から新潟配置のサハシ165を転属させて連結、営業開始しました。昭和40年(1965)12月～昭和57年(1982)2月までサハシ165連結、以後はクハ165に入替、サロを1両減車を経て昭和61年(1986)10月183系へ車種変更されました。

急行「こまがね」 運転区間:新宿—天竜峡・飯田

昭和43年(1968)10月～昭和61年(1986)10月に活躍。当初は急行「赤石」として運行され、いわゆるヨンサントウのダイヤ改正で「こまがね」に改称されました。中央自動車道のない時代に南信と東京を乗り換えなしで結ぶ貴重な優等列車として重宝されました。

急行「きそ」
急行「つがいけ」



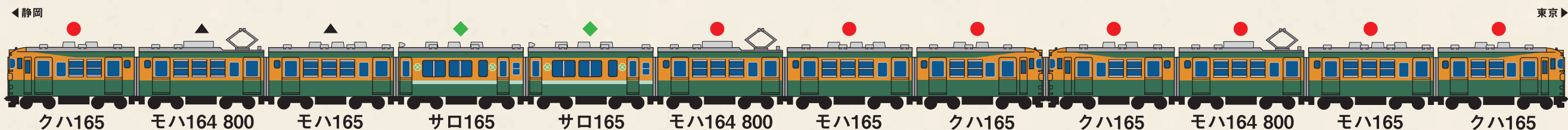
急行「きそ」 運転区間:名古屋・松本・長野・南小谷

中央西線の塩尻電化が完成した昭和48年(1973)7月から165系で運行開始され、名古屋ー松本・長野・南小谷を結びました。165系の中では少数派のモハ+モハユニットが関西地区から中央西線の担当区である神領に転属して使用されたのも特徴です。昭和53年(1978)には、短編成化、のちに中津川と長野を結ぶローカル急行へ転身しました。

急行「つがいけ」 運転区間:名古屋ー松本・南小谷

急行「きそ」の姉妹列車として昭和48年(1973)7月から165系で運行開始され、松本から大糸線へ分け入り、名古屋と南小谷を結び急行でした。昭和53年(1978)10月以後は短編成化、大糸線内の信濃大町～南小谷間は普通列車になるなど縮小され、昭和57年(1982)11月に運行終了しました。

急行「東海」



急行「東海」 運転区間：東京－静岡

急行形電車の始祖、153系が準急「東海」から急行「東海」になるまで長く運用され、165系急行「東海」になったのは意外に遅く、昭和56年(1981)10月からになります。大垣、神領に所属してたモハ+モハユニットを静岡へ集結させて、基本編成と付属編成の連結面以外は中間部に先頭車が入らない綺麗な通し編成が組まれていました。昭和61年(1986)11月からは付属編成がクハ+モハ+クモハとなり11両編成に、平成8年(1996)特急「東海」へ格上げされ373系による運用に交代しています。

急行「伊那」



急行「伊那」 運転区間:大垣・豊橋一飯田・辰野・上諏訪

唯一の飯田線内通し運転の優等列車としてかつては80系によって運転されていました。昭和47年(1972)から165系が使用され、大垣区所属の編成が用いられたことから東海道線内を快速列車や普通列車で走行し、飯田線内を急行「伊那」として運用されました。

急行「富士川」



急行「富士川」 運転区間：静岡・三島－甲府

急行「富士川」も急行「伊那」同様に80系による運転が行われていましたが、昭和47年(1972)から165系になりました。実車はサハ153-200が165系引き通し線を増設して使用されていました(模型ではサハ165で代用)。JR移行後もサハを減車して使用され平成7年(1995)に373系特急「富士川」に格上げ交代しています。

HOゲージ 165系ラインナップ

クモハ165



モハ164



クハ165



3-527 HO 165系800番台 3両セット

¥41,800

モハ164



モハ165



3-529 HO 165系800番台 モハユニット2両セット

¥29,700

単品



1-445 HO クハ165

¥11,000



1-447 HO サロ165

¥9,900



1-456 HO サハ165 0番台

¥7,150



1-450 HO サハシ165 0番台

¥9,900

☞:ライト点灯 (M):モーター付き動力車 ㄗ:KATOカブラー密連形 ⦿:クイックヘッドマーク対応



3-528 HO 165系800番台 4両セット

¥51,700



JR東日本商品化許諾済 JR東海承認済

KATO 株式会社 カトー
PRECISION RAILROAD MODELS



〒161-0031 東京都新宿区西落合 1-24-10

KATO 鉄道模型 検索 www.katomodels.com

■KATO製品は私たちにおまかせください。

各掲載製品の仕様・価格などは2025年5月時点のものです。仕様・価格などは予告なく変更することもあります。表示価格は税別表示価格です。万一品切の際はご了承ください。

202505

よくある質問は
こちらから



FAQ